
わんことまみ

もんつきはかま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わんことまみ

【コード】

N7300F

【作者名】

もんつきはかま

【あらすじ】

幼い女の子が大事に思う気持ちを見つける時の気持ち

「コン。コン。コン。」ゆっくりと静かな音でドアが、鳴った。今日は、4歳のまみちゃんお留守番の日でした。

「はあい」「あつ、ママに開けてダメって言われてた」

足音を立てず後ろに一歩、二歩下がった。「ボタン」ドアの音が響いた。「だあれ？」まみちゃんは、ママの言っていた事も忘れドアを開けた。「どおしたの？くまさん？けが、しちゃった？」

まみちゃんがくまさんとおもった理由は、白くて大きなわんこでした。

「こつちにおいで」わんこは足を引きずり中に、その場で倒れた。

「やーだ 起きてダメ起きて」まみちゃんは、泣いた。いっぱい泣いた。

それでも、まみちゃんは、わんこの体をさすり泣き声がまみちゃんの大好きな子守唄になっていた。わんこは、お空に行ってしまったのに。

ずっーと長い時間歌った。声も手も痛い、その時「コン、コン」ドアが

鳴った。まみちゃんは、「ママが、帰ってきた」ドアを開けると誰もいない。

振り返ると、わんこが、立っている。「わあー帰ってきたの？」「ワン」わんこは、

へんじを返した。まみちゃんとお話ができるようになり、毎日、寝る時も、

遊ぶ時も、まみちゃんが転んだ時も、ママに怒られた時も、友達とけんかした時も

わんこは、ずーっと話しを聞いていつもそっとそばにいてくれた。

わんこはおねえちゃん

まみちゃんは、妹となってまみちゃんを大事に見守っている。

「ありがとう、まみの大切な家族だよ　まみは、わんこを愛してる」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7300f/>

わんことまみ

2010年10月28日03時26分発行